

2004年度活動ダイジェスト

環境マネジメントシステムの全生産拠点構築を達成

FDKでは、グループ内のそれぞれの生産拠点において、環境保全活動を自主的に行うだけでなく、環境経営を横断的に展開するため、ISO14001^{*}環境マネジメントシステムの認証取得活動を推進してきました。2002年には、日本国内の全ての生産拠点において認証を取得しました。2004年度は、中国の蘇州FDKがISO14001の認証を取得したことにより、当初計画していた「国内外のグループ全生産拠点においてISO14001の認証取得」が完了し、グループとしての環境経営の基盤を構築することができました。(P9参照)

環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品の開発スタート

製品の設計段階から、環境に配慮し、省エネルギー性、省資源性、リサイクル性、有害化学物質の排除などを考慮した製品開発を行っています。2004年度は、これまでのグリーン製品のレベルを超えた、環境トップ要素(「世界初」「世界最小」「国内初」「業界初」「国内最小」「業界最小」)を持つスーパーグリーン製品の開発に向けた活動をスタートしました。(P11参照)

製品に含有する有害化学物質の全廃活動の強化

欧州のRoHS指令^{*}をはじめとし、製品に含まれる有害化学物質の規制や管理要求はますます厳しくなっております。FDKグループでは、これらへの対応を強化するために、「含有化学物質管理委員会」を2004年10月に発足しました。法令及び市場が要求する基準を満足するための含有化学物質管理基準を制定し、海外拠点を含めたFDKグループの調達品の購入・受入から生産・出荷に至る全てのプロセスにおいて製品保証のための管理体制を構築すべく、活動をスタートさせました。(P14参照)

エネルギー管理優良工場(電気部門)中部経済産業局長表彰

地球温暖化防止やエネルギー資源有効活用の観点から、これまで湖西工場においてはコージェネレーションの導入や設備の改善、管理方法の改善など、さまざまな省エネルギーへの取り組みを行ってきました。これらの取り組みの結果、湖西工場において、「平成16年度エネルギー管理優良工場(電気部門)中部経済産業局長表彰」を受賞しました。この賞は、エネルギー使用の合理化を図り燃料資源の有効な利用の確保に資するため、その成果が大であり、他の模範となる工場または事業場を表彰することにより、省エネルギーの一層の推進に資することを目的とした表彰制度です。(P15参照)

廃棄物ゼロエミッションの達成

廃棄物の3R活動^{*}と同時に廃棄物ゼロエミッション^{*}に取り組んできました。2001年度のいわき工場達成、2003年度のFDKエコテック(株)達成に続き、2004年度末には湖西工場、山陽工場、FDKエナジー(株)、FDKエンジニアリング(株)において廃棄物ゼロエミッションを達成しました。これにより、目標としていた「国内の全生産拠点で廃棄物ゼロエミッション」を達成することができました。今後は、ゼロエミッションの状態が適正に維持管理されているかをチェックする体制と制度を設けるとともに、海外生産拠点における廃棄物ゼロエミッションを展開していきます。(P18参照)

ISO*	International Organization for Standardization(国際標準化機構) 国際的な統一規格を作成する機関。
ISO14001*	環境マネジメントシステムを構築し、継続的に環境活動の改善に取り組むことを規定した国際規格。
RoHS*	Restriction of the use of certain Hazardous Substance in electrical and electric equipment 電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限。
廃棄物の3R*	廃棄物の排出量抑制(Reduce)、商品、部品として再利用すること(Reuse)、原材料・熱エネルギーとしてリサイクルすること(Recycle)。
廃棄物ゼロエミッション*	産業活動を通じて排出される廃棄物や化学物質を限りなくゼロに近づけること。